

パルシステム東京 御中

## 平和カンパ 2025年度 年次活動報告書

生活協同組合パルシステム東京様の平和カンパにより、昨年に引き続き、タイ・ミャンマー国境沿いにある7ヶ所の難民キャンプにある15館のコミュニティ図書館の運営のご支援を頂きました。困難を極める難民の人びとにとって心の拠り所となるコミュニティ図書館へのご支援を、誠にありがとうございました。

### 1. 事業概要

- 事業対象地： タイ国境7ヶ所のミャンマー（ビルマ）難民キャンプ  
事業名： ミャンマー（ビルマ）難民キャンプにおける  
コミュニティ図書館を通じたノンフォーマル教育支援事業  
対象者： 難民キャンプ15館図書館利用者合計：延べ235,069人  
(2025年1月～12月の図書館利用者実績)



### 2. 難民キャンプを取り巻く状況

ミャンマーとタイ国境に難民キャンプが設立され40年以上が経ちました。現在、9ヶ所の難民キャンプにはミャンマーからの難民が約10万人暮らしています。昨年は米国を中心とする国際支援の大幅な削減の影響で、食料や医療の支援がごく一部を除いて大幅に縮小し、人びとの生活はさらに厳しくなりました。タイ政府は影響緩和策として難民が一時的にキャンプ外で最大1年間合法的に就労することを認める決議を承認し、手続きは10月から開始されました。これは難民が自立する上で大きな一歩となると思われますが、限定的であり、また保護者が就労でキャンプを離れる場合の子どもたちの世話や、キャンプ内の職員の流出、脆弱な立場の人の保護など課題が残ります。不透明な状況が続きますが、シャンティをはじめ、各支援団体は難民の人びとがこの就労機会を最大限活用できるよう支援を手探りではじめています。このように将来への見通しが不確かな中でも、心が安らぐ場として、コミュニティ図書館は貴重な役割を果たし続けています。

### 3. 活動内容

#### ① コミュニティ図書館活動

各コミュニティ図書館には2人の図書館員と図書館青年ボランティアがおり、図書の貸し出しだけで



TYV の読み聞かせを楽しむ子どもたち

なく、絵本の読み聞かせや楽しいアクティビティを通して子どもたちを見守っています。図書館員による読み聞かせは、絵本のほか、大型絵本、パネルシアター、エプロンシアターも活用しています。図書館は、自習のための場の提供や識字率向上、および住民による参加の促進を通して、コミュニティ全体に大きく貢献しています。加えてコミュニティ図書館は、住民が集まって各々の知見を共有し、地域住民同士で団結して協力し合うなどの機会提供の場としても機能しました。

## ② 図書館からの情報提供活動

ミャンマーから毎月購入しているビルマ語やカレン語の雑誌、新聞、漫画、小説など、大人向けの一般教養図書の配布を続けています。各図書館には毎月 25～30 冊程度が配布されます。また、コミュニティ図書館には情報掲示板や PC を設置しており、ミャンマーの情勢、健康に関する情報、キャンプ内の概況、第三国定住プログラムに関する情報を共有しています。また当会のプログラムの一つである「絵本を届ける運動」により、日本から 7 タイトル 5,035 冊の子ども向けの絵本が 2 月に当会に届き、それぞれ各図書館に配布しました。これらの絵本は日本で寄贈されたもので、翻訳されたテキストのシールが各ページに貼り付けられているものです。日本の子ども向け絵本は、2,550 冊がカレン語に、2,485 冊がビルマ語に翻訳されました。

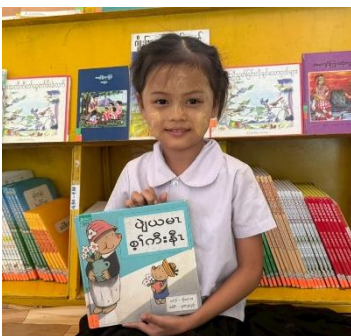


思い思いに絵本を楽しむ様子

## ③ 学校への移動図書館活動

図書館と学校の連携を強化し、読書習慣を促進するため、移動図書館活動を実施しました。各図書館では、キャンプ内のさまざまな教育施設の教員が子ども向けの絵本や授業で使用する一般図書を選ぶためのサポートをしています。7 つのキャンプで合計 16,596 冊の本が移動図書館箱から貸し出されました。

## 4. 難民キャンプからのメッセージ (ナーさん、12 歳)



図書館はとても素敵な場所です。図書館員さんやボランティアさんの読み聞かせを聞くのが大好きです。図書館に行けばたくさんの絵本に出合えます。お気に入りの絵本は『ミミは真似するのが大好き』です。何でも自分でやりたがるミミと、人の真似するのが好きところが気に入っています。絵本の絵はカラフルで、アートや動物、本の中の人びとなど見たことのない光景が載っていて面白いです。

大きくなったら学校の先生になりたいです。自分が学んだ知識を他の人に教えて分かち合いです。いつも私たちをご支援してくださり、ありがとうございます。皆様のご支援のおかげで本を読むことができます。